

# 国際商経学部 紹介と今後の展望

## 国際商経学部

○学部長・教授 とも の あきひこ  
友野 哲彦

### キーワード

実学重視の教育、PBL(プロジェクトベースドラーニング)、グローバル化への対応



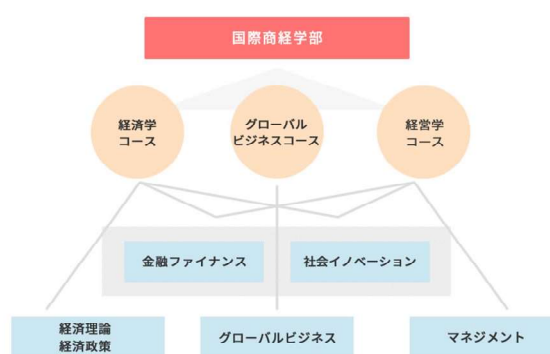
### 研究概要

本学部は経済学と経営学をベースに、時流に呼応した組織改革を行ってきた。神戸商大時代には、コンピュータの活用が進むことを想定して1963年に管理科学科を増設。また、国際化の進展に伴って海外で活躍する人材の育成を目指して1979年に国際商学科を増設した。

兵庫県立大学になってからは、2019年より経済学部と経営学部を、国際商経学部と社会情報科学部に再編した。国際商経学部は3コース5プログラムから成る。この再編で経済学と経営学の基礎を同時に学ぶ事ができるようになり、両学問の専門科目を融合的に学ぶプログラムも準備された。

また、経済学部の国際キャリアコースや経営学部の東南アジア研修の経験をいっそう充実させるため、入試の段階から独立したグローバルビジネスコース・プログラムを設置した。

3つのコースで5つの教育プログラム

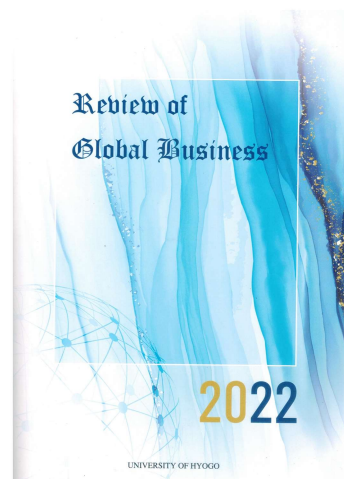


国際商経学部のコースとプログラム

### アピールポイント

経済学コースと経営学コースでは、1年次後期から2年次前期の1年間、プロジェクトゼミに所属する。産学連携プロジェクトやフィールドワーク等、実社会の課題解決に取り組むゼミナール演習である。グループで共同作業を行いながら、企業や社会の問題や課題を認識し、分析し、解決策を見いだすためのトレーニングを行う(PBL: プロジェクトベースドラーニング)。

グローバルビジネスコースの入学定員は日本人50名、外国人留学生30名の計80名であり、すべての科目を英語で学ぶ。1年次はキャンパス内の国際学生寮で留学生とともに過ごし異文化体験を共有する。4月入学の日本人学生は、1回生前期に5週間の短期海外語学研修を行う。2022年度末、GBCの第1期生が執筆した卒業研究論集『Review of Global Business』全348ページ(ゲンGBコース長監修)が刊行された。



GBC 卒業研究論集(全348頁)

### 【展望】

- ・GBCの日本人2年次生は半年以上の海外留学を義務付けること
- ・GBC留学生の日本体験実習の強化
- ・経済学コース・経営学コースのDX強化